③利用者会議

所管：中高生センタージャンプ東池袋

◎利用者会議・・・月一回開催

各回 20～30 人参加。

アンケート形式：職員会議等で内容を検討 裏面は SNS トラブル防止啓発の内容を記載
当日、希望者に配り、職員が説明や会話をしながら記入。

◎池スタ・・・月一回開催

各回 5 人程度参加

音楽スタジオ利用者の利用者会議(会議形式) 音楽スタジオの設備や運営方法、音楽イベント等について意見・希望を聞く。

※ジャンプからのお知らせや、前日または当日に Instagram や X で PR

利用者会議での意見と対応法

- ・Wi-Fi を設置してほしい。
→要望を上げ新拡で R6 年度 2 月よりフリースペースと音楽スタジオにアクセスポイント設置。
ホール設置実現に向け調整中。
- ・(報償費を使用して)どのような講師の講習を受けたいか希望を聞く。
→ボイストレーニング講習会や卓球教室を実施。
- ・ゲーム大会をしたい。
→「自主企画書」として職員と相談しながら実施。麻雀大会は R7 年度実施
- ・ジャンプにおいてほしい遊具や漫画の要望
→利用者に希望を取ったのち、希望数の多いものを当初予算で購入。
- ・音楽スタジオ設備の要望
→利用者とは相談し必要な機材等を購入する等
- ・ライブについて検討
→時期やスタッフ準備・当日内容などを職員と一緒に検討

※利用者会議は月 2 回実施。利用者の意見・要望を聞き、実現に向けて検討し可能なものは実施している。また、実現不可能な場合も含めて結果報告を行っている。

◎その他

日常的な職員と利用者との関わりや会話の中から、利用者の意見や要望が出てくることが多く、その都度、実現にむけて検討・調整している。

- ・コロナ期(R2 年度)は実施を見合わせも検討されたが、「ライブをしたい」と要望があり、体育館でのライブを実施。翌年はライブハウスでのライブを再開
- ・グラフィティをやっている高校生が来館しており、職員との会話の中から「ジャンプでやってみたい」と要望があり、自主企画としてグラフィティとワークショップ、ライブのイベントを実施した。(R2 年度)
- ・麻雀をやっている高校生が増え、「他の人ともやってみたい」という声があり「麻雀大会」実施へと繋がった。(R7 年度)

◎利用者会議・・・月一回開催

各回 10～20 人参加。

参加者の中からその場で声掛けし司会進行を選出。

前段は、ジャンプからのお知らせ（イベントや次月の休館日）などをジャンプ職員より伝達。

利用者からの意見（R6.4月～R7.5月抜粋）と対応法

- ・（菓子を食べることができないルール）の 2 階の部屋で菓子を食べることを可能にしてほしい。
→要望した利用者を中心として、自分たちでルール作りをしてもらい、それをもとに職員会議で実現に向けて調整。
- ・各部屋の Wi-Fi が弱いので強化してほしい。
→本課に要望をあげ、業者にも状況確認してもらいつつ、実現に向け調整中。
- ・ギターやドラムなど、講師に教えてもらいたい。
→高校生が中学生に教えるなど、可能な範囲で実施。
- ・ゲーム大会・麻雀大会・卒業生追い出しライブをしたい。
→「自主企画書」を作成し、職員のアドバイスを受けつつ実施。
- ・ジャンプにおいてほしい遊具や漫画の要望
→要望のあったもの一覧表を作成し、利用者に希望を取ったのち、希望数の多いものを当初予算で購入。

※上記、事業としては月 1 回の利用者会議で利用者の声（要望）を吸いあげ、内容によっては利用者にルール作りから考えてもらい、実現に向けて検討・調整している。

事業以外でも、日々の利用者との会話のなかから要望や意見を取り入れていくための 職員の意識は高い。

- ・中学三年生の「本格的な受験体制に入る前に、音楽ライブを開催したい」
→自主企画書の提案をし、7月中旬日曜日にジャンプ内スタジオでライブ開催の準備中。
など。

◎子どもの権利擁護委員や子どもの権利相談員、アシスとしまとのかかわり

- ・高校部活動設立支援
現在高校に無い部活動を作りたい生徒たちからの要望により、設立するために必要な手順などのアドバイスや、生徒たちの自発的な検討材料を引き出すための支援。
- ・学校での学習について不安を抱える中学生利用者に、自身でできることを考えるためのアドバイス。

など。

上記各機関へのつなぎや連携を実施。